

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2010年5月30日

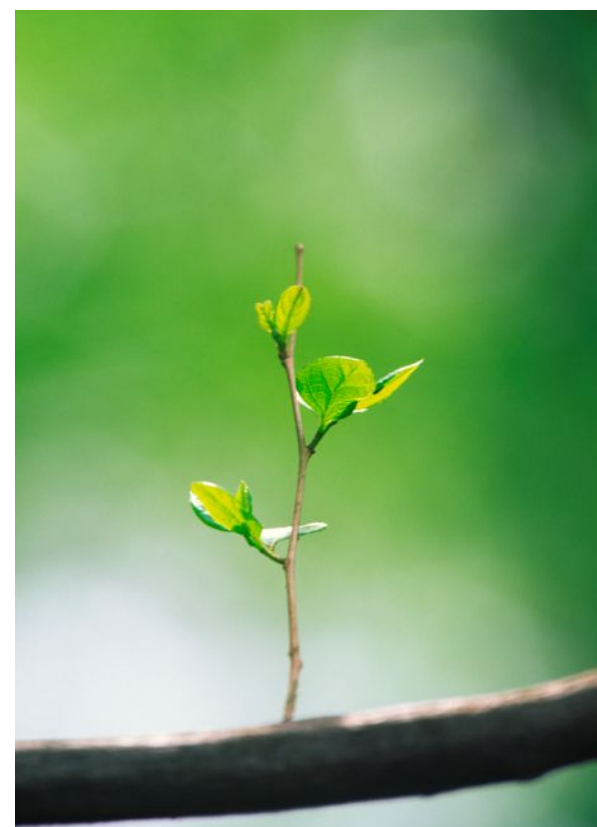
### 聖日礼拝

ペンテコステを越えて

「御霊によって歩む」

ガラテヤ5章16-26節

竿代 照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

ガラテヤ人への手紙5章16-26節

**16** 私は言います。

御霊によって歩みなさい。

そうすれば、

決して

肉の欲望を満足させるような  
ことはありません。

## 17 なぜなら、

肉の願うことは御霊に逆らい、  
御霊は肉に逆らうからです。  
この二つは互いに対立していて、  
そのためあなたがたは、  
自分のしたいと思うことを  
することができないのです。

**18** しかし、

御霊によって導かれるなら、  
あなたがたは律法の下には  
いません。

**19** 肉の行ないは明白であって、

次のようなものです。  
不品行、汚れ、好色、

**20** 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、  
そねみ、憤り、党派心、  
分裂、分派、

**21** ねたみ、醜妬、遊興、  
そういった類のものです。  
前にもあらかじめ言ったように、  
私は今もあなたがたに  
あらかじめ言っておきます。  
こんなことをしている者たちが  
神の国を相続することは  
ありません。

**22** しかし、御霊の実は、愛、喜び、  
平安、寛容、親切、善意、誠実、

**23** 柔和、自制です。

このようなものを禁ずる律法は  
ありません。

**24** キリスト・イエスにつく者は、

自分の肉を、

さまざまの情欲や欲望とともに、  
十字架につけてしまったのです。

**25** もし私たちが御霊によって  
生きるのなら、  
御霊に導かれて、  
進もうではありませんか。

**26** 互いにいどみ合ったり、  
そねみ合ったりして、  
虚栄に走ることのないように  
しましょう。



説教

ペンテコステを越えて

「御霊によって歩む」

ガラテヤ人への手紙**5章16-26節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「私は言います。  
御霊によって歩みなさい。

そうすれば、

決して肉の欲望を

満足させるようなことは

ありません。

...もし私達が御霊によって

生きるのなら、御霊に導かれて、

進もうではありませんか。」

(ガラテヤ5:16、25)

# A. 御霊によって歩む個人 (16節)

「御霊による歩み」とは、  
「私たちの全生命(霊と心と体)の  
ために、  
聖霊により頼む習慣の持続」

(A.B.シンプソン)

1. 「歩む」：  
御霊に導かれる日常生活

## 2. 「御霊によって」： 感化と指導を受けながら

- ①御霊を認識する
- ②御霊に信頼して依り頼む
- ③聖霊に相談する
- ④聖霊に従う
- ⑤聖霊と歩調を揃えて歩む

3.

「そうすれば、決して...」：

御霊によって歩む結果

- 罪の欲望に勝利（**16節後半**）
- 律法主義からの解放（**18節**）

## B. 御霊によって進む共同体

**(25節)**

1. 「御霊によって生きるならば」  
：御霊による歩みの前提

① 聖霊による新生

**(3:2、3、エペソ2:1—6)**

② より深い十字架経験

**(24節、ローマ6:11)**

2. 「御霊に導かれて」

3. 「進む」：  
    隊列を作って行進する

①互いに尊敬する(26節)

②互いに謙遜と愛をもって  
    警告する(6:1)

③互いの重荷を負う(6:2)

4. “Let us”スピリット



# C. 御霊による歩みの結果：

麗しい御霊の実

- ①憎しみ**vs**愛；
- ②悲しみ**vs**喜び；
- ③思い煩い**vs**平安
- ④短気**vs**忍耐；
- ⑤意地悪**vs**親切；
- ⑥邪悪**vs**善良；
- ⑦疑い**vs**誠実；
- ⑧暴虐**vs**柔和；
- ⑨でたらめ**vs**節制

# おわりに

1. 個人として：  
御霊に頼る日常生活を歩もう
2. 共同体として：  
御霊に導かれた相互建徳を  
求めよう